

## メールのフィルター・転送の使い方

### メールのフィルター・転送について

受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

### 1.メールツールにログイン

メールツールのログイン画面にメールアドレス、メールパスワードを入力し[ログインする]をクリックします。

UserTool ログイン画面

メールサービス

「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。

メールアドレス:

パスワード:

ログインする

### 2.メールサービス詳細画面の表示

[メールサービス]をクリックして設定ページに切り替えます。

ユーザーツール / メールサービス

メールサービス

インフォメーションに戻る

各種お知らせ

[サーバーメンテナンスのご連絡](#)

[サーバー障害のご連絡](#)

### 3.新規フィルターの追加

【メールサービスの詳細】が表示されますので、[新規フィルターの追加]をクリックします。

### 4.【ユーザーフィルターの新規作成】画面

【ユーザーフィルターの新規作成】が表示されます。

## 5.フィルター名の入力

【フィルターの名前欄】に任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前

## 6.ルールの適用条件の設定

新しく条件を追加する場合は、[新規条件の追加]または[追加]をクリックします。

設定した条件を削除する場合は[削除]をクリックします。

ルールの適用条件

以下のルールのいずれかに一致
  以下のルールの全てに一致
  全てのメールに適用

送信者(from)が




を含む



追加

削除

新規条件の追加

### ルールの適用条件項目

以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。(or 条件の指定になります。)
以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。(and 条件の指定になります。)
全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (「全てのメールに適用」を選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)

## 【条件の設定画面について】

条件の設定画面は、選択するメニューにより、3つのパターンに変化します。

## 【パターン1】「送信者(from)が、受信者(to、cc)が、件名(Subject)が、本文(body)が」のいずれかを選択した場合

ル (1) の適用条件  以下 (2) ルールのいずれかに一致  以下のルールのもつてに一致 (3) 全てのメールに適用

送信者(from)が		を含む	追加	削除
送信者(from)が		を含まない		
受信者(to、cc)が		と一致する		
件名(subject)が		と一致しない		
本文(body)が		存在する		
メールヘッダー(header)が		存在しない		
メールサイズが				

## 適用条件項目

(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to、cc)が	条件にメールの受信者(to、cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)が	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)が	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>含まれている</u> 場合に動作します。 ※ 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>含まれていない</u> 場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>一致する</u> 場合に動作します。 ※ 一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『From が』『sample@*****.com』と『一致する』いう設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダの From が、『"イージェーサンプル"<sample@*****.com>』となっている場合には、一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>一致しない</u> 場合に動作します。
	存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>存在する</u> 場合に動作します。 ※ 存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。 ※ 『本文(body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作しません。
	存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が <u>存在しない</u> 場合に動作します。

## 【パターン2】「メールヘッダー(header)が」を選択した場合

ルールの適用条件

以下(2)ルールのいずれかに (3)
  以下のルールの全てに一致
  全てのメールに適用 (4)

メールヘッダー(header)が   を含む

を含む  
 を含まない  
 と一致する  
 と一致しない  
 存在する  
 存在しない

## 適用条件項目

(1)	メールヘッダー (header)が	条件にメールヘッダ(header)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、header を入力します。(header はメール画面から確認できます。) <b>【入力例】</b> From(送信者)が、sample@*****.com を含む場合 この場合は「From」と入力します。 <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="sample@*****.com"/> <input type="text" value="を含む"/>
(3)		(2)で入力した header の詳細条件を入力します。 <b>【入力例】</b> From(差出人)が、sample@*****.com を含む場合 この場合は「sample@*****.com」と入力します。 <input type="text" value="メールヘッダー(header)が"/> <input type="text" value="From"/> <input type="text" value="sample@*****.com"/> <input type="text" value="を含む"/>
(4)	を含む	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。 ※ 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力した、header 情報が一致する場合に動作します。 ※ 一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力した、header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	入力した、header 情報が存在する場合に動作します。 ※ 存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。
	存在しない	入力した、header 情報が存在しない場合に動作します。

## 【パターン3】「メールサイズが」を選択した場合

ル (1) の適用条件  (2) 下のルールのいずれか  (3) 一致  以下のルールの全てに一致  全てのメールに適用

メールサイズが   バイト  KB  MB  GB 以上の時

## 適用条件項目

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)		(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。
(3)		メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。

## 7. ルールの適用時間の設定

条件を設定したルールの適用時間を設定します。

[常時]または[時間指定]にチェックを入れて、0～23 時の間で時間を指定します。

ルールの適用時間  常時  時間指定  時台 ~  時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。  
※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

※ 時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

## 8. 実行する処理内容の設定

実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能です。

新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する

次のフォルダにメールを移動する  
次のフォルダにメールをコピーする  
次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)  
次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)  
メールを破棄する  
バケーションメールを送信する  
メールを削除する  
ルール評価を停止する

受信トレイ

受信トレイ  
下書き  
送信済みアイテム  
迷惑メール  
ごみ箱  
保存フォルダー

## 【実行する処理の内容画面について】

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

## 【パターン1】「次のフォルダにメールを移動する」、「次のフォルダにメールをコピーする」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)の内容を設定します。

次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する パケージンメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	受信トレイ 受信トレイ 下書き 送信済みアイテム 迷惑メール ごみ箱 保存フォルダー	追加	削除
---	--	----	----

## 適用条件項目

(1)	次のフォルダにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。
	次のフォルダにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)		選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。 ※ 初期フォルダは、Web メールにログインした際自動作成されます。 ※ 初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダー」の6つのフォルダがあります。また、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合もこの一覧に表示されます。

## 【パターン2】「次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない/残す)」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)の内容を設定します。

次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する パケージンメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する	<input type="text"/>	追加	削除
---	----------------------	----	----

## 適用条件項目

(1)	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送し、転送したメールはサーバから削除します。 ※ 転送したメールはごみ箱に入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバに残す設定です。
(2)		転送するメールの送信先のメールアドレスを入力します。

## 【パターン3】「メールを破棄する」を選択した場合

実行(1)の処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの(2)内容を設定します。

メールを破棄する

## 適用条件項目

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバから削除され、サーバから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 ※ メールはごみ箱には入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
(2)		差出人に対して送信するメッセージを入力します。

## 【パターン4】「バケーションメールを送信する」を選択した場合

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

(1) バケーションメールを送信する

本文

(2)

件名

(3)

受信者

(4)

(5) 返送禁止期間  日

## 適用条件項目

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。 バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
(3)	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 ※ 件名は半角 70 文字、全角 15 文字以内の入力制限があります。
(4)	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛でのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
(5)	返送禁止期間	1 度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。 1～90 日の間で半角の数字を入力します。



## 【パターン5】「メールを削除する」、「ルール評価を停止する」を選択した場合

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

メールを削除する	追加	削除
次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する バケーションメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する		

## 適用条件項目

メールを削除する	条件に該当したメールをサーバーから削除します。 ※ メールはごみ箱には入らず、サーバから削除されますのでご注意ください。
ルール評価を停止する	複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルター設定は実行されなくなります。 <b>【設定例】</b> 下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合に、ユーザーフィルター2で“ルール評価を停止する”を設定していると、それ以下のユーザーフィルター3が実行されなくなります。  <b>ユーザーフィルター2に“ルール評価を停止する”設定がある状態</b>

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	<input type="button" value="優先度を上げる"/> <input type="button" value="優先度を下げる"/>

↓

## 9.設定内容の保存

各種条件の設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

## ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。

優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。

優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※ 『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

ユーザーフィルター ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる

## ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの[編集する]ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの[削除する]ボタンをクリックし、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

※ [保存する]ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。

ユーザーフィルター ユーザーフィルターは、迷惑メールフィルターを通過したメールに適用されます。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる            優先度を下げる